

CONTENTS

TOPICS

- ① 工学進路選択支援イベント「工学の扉を開こう」特別企画 モノづくりチャレンジ「3Dプリンターでオリジナルグッズを作ろう！」
- ② 第8期 女性技術者リーダー養成塾
- ③ ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 最終報告シンポジウム「共に創る未来へ」
- ④ NITech CAN 女性研究リーダー養成塾 第1回研究力向上セミナー「特許出願の意義と活用」
- ⑤ NITech CAN 工学女子キャリア形成塾「英語プレゼンテーションセミナー」
- ⑥ 育児・介護休業法改正に伴う説明会
- ⑦ 第9回「女性が拓く工学の未来賞」授賞式

REPORT

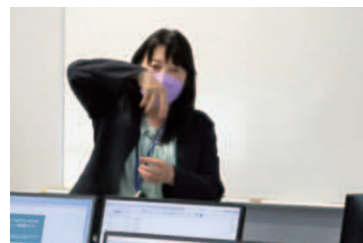
第9回「女性が拓く工学の未来賞」受賞者の声

TOPIC 1 工学進路選択支援イベント「工学の扉を開こう」特別企画 モノづくりチャレンジ「3Dプリンターでオリジナルグッズを作ろう！」

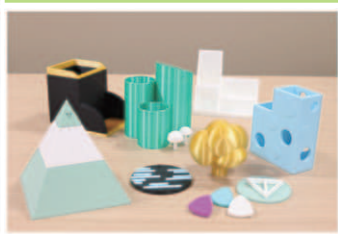
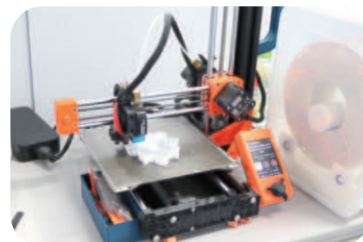
2022年8月7日、女子中高生を対象に「モノづくりチャレンジ『3Dプリンターでオリジナルグッズを作ろう!』」を11号館 CAD室にて開催しました。アンリツ株式会社 理事・CTO 野田華子氏の指導のもと、中学1年生から高校1年生までの参加者24名が、ものづくりの発案から設計までを体験しました。本イベントは、4時間半にわたって、3部構成で行われ、大学院生2名、女子学生団体彩綾～SAYA～の学部生5名が参加者のサポートにあたりました。

第1部では、野田氏による講義が行われ、CPS(サイバーフィジカルシステム)や3Dプリンターの歴史や仕組みについて学び、第2部では、3D CADの基本操作について、野田氏がスクリーンに示す通りに参加者も同時に操作して学習していきました。

第3部では、参加者が作りたいグッズの形をイメージし、完成寸法を考えながらグラフ用紙にデッサンをした後、3D CADで設計しました。初めて3D CADを操作する参加者も、どうしたらデッサンした形状が作れるのかをサポートの学生に相談しながら、時間内に思い描いたオリジナルグッズの設計を完成させることができました。



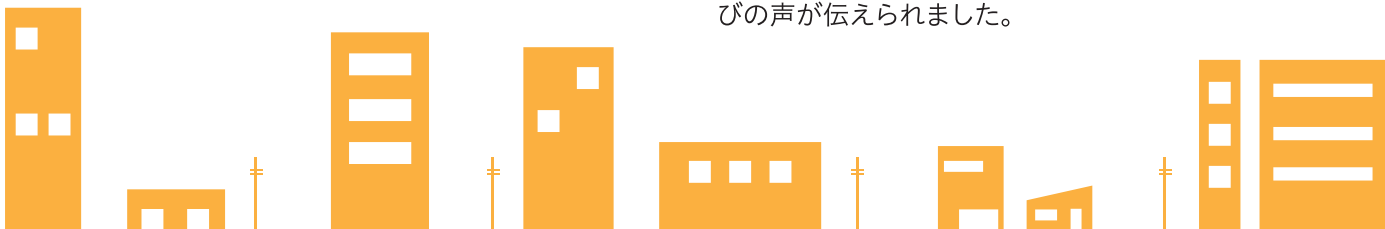
アンリツ株式会社 理事・CTO 野田華子氏



3Dプリントした参加者の作品

当日付き添われた保護者の方は、別室でオンライン配信される講義の様子をご覧になるとともに、交代制で廊下からお子様の作業の様子を参観されました。また、CAD室前の廊下では、3Dプリンターの出力デモンストレーションが行われ、多くの方が立ち止まり、小物入れができ上がるまでの様子を、興味深そうに観察していました。

イベント終了後のアンケートでは、「初めて3D CADを使ったけど、説明やサポートがしっかりしていて、楽しかったです。(中1)」、「コンピューターを使って物を設計するのは初めてだったので難しいと感じることが多かったけれど、とても楽しかったです。今度はもっと難しい技術も使えるようになりたいと思いました。(高1)」、「初めてコンピューターのソフトを使って自分が考えたものを設計してみて、とても楽しかったので、ものづくりに興味を湧きました。(高1)」と、作品を完成させた達成感と喜びの声が伝えられました。



TOPIC 2 2022年度 第8期 女性技術者リーダー養成塾

2022年8月30日、ダイバーシティ推進センター主催「第8期 女性技術者リーダー養成塾」を開講しました。本養成塾は製造業に勤めている女性技術者のための講座で、女性技術者がリーダーとして長く活躍し続けるために必要なスキルを学び、長期的視点でキャリアをデザインする機会を提供することを目的としています。

第7期より西岡慶子氏(株式会社光機械製作所代表取締役社長)を塾長に迎え、技術者がリーダーへと成長するために必要な知見を学べるようカリキュラムをより充実させています。11月11日の卒塾式・塾長講演を含め5回の講座を対面とオンラインにて開催し、県内外企業23社から24名の女性技術者が受講しました。

8月30日、3年ぶりに入塾式・第1回講座を対面で開催しました。

「自分とチームを信じてキャリアビジョンを描こう(講師:株式会社eight代表取締役 鬼木利瑛氏)」では、自己理解のワークを行い、価値観や自分軸、強みについて自己分析し、短期・中期・長期的な目標設定・アクションプランを立てるためのステップを学びました。

塾長講義「アフターコロナに向けたキャリアラダーの展望と実践(講師:株式会社光機械製作所 代表取締役社長 西岡慶子氏)」では、プロフェッショナルであることについて多角的に考える視点が示されました。後半は、ディスカッションの実践を通して、リーダーが心がけるべきコミュニケーションのキーポイントについて実践的な指導がありました。



鬼木 利瑛氏 西岡 慶子氏 ディスカッションの様子

キャリアデザイン
Career design

リーダースキル
Leader skill



仁科 健教授 鷺見 克典教授 神田 幸治准教授

9月13日、第2回講座をオンラインで開催しました。「『品質』をテーマにもものづくり

のプロセス、4つの対策、原因の解析方法の解説がありました。

「コミュニケーションの基本スキルを考える(講師:鷺見克典教授)」では、コミュニケーションで生じるエラーをモデル化するワークを行い、問題点を整理する手法を学びました。

「『ポカミス』をテーマにもものづくりの安全を考える(講師:神田幸治准教授)」では、人的エラーの事例を心理学的に分析し、対策する方法を学び、グループワークでは、殺虫剤の誤飲事故を事例に対策を考え、各グループの結論を発表しました。



安藤 真澄氏 我妻 三佳氏 オンライン講義の様子

10月4日、第3回講座をオンラインで開催しました。

「製品開発にいかすマーケティング手法(講師:株式会社電通 安藤真澄氏)」では、マーケティングの定義や基本的な考え方や「モノづくり」を「モノがたり」へと発展させていく視点を学びました。

「成果を引き出すためのチームビルディングの実践(講師:日本アイ・ビー・エム株式会社 執行役員 我妻三佳氏)」では、組織やチームの特性、目標、現状を踏まえて、様々なタイプのリーダーの資質や行動様式を使い分ける必要があること、そのために、自分や相手のコミュニケーションスタイルを知ることの重要性について学びました。講座後半のグループワークでは、具体的な事例をもとに、ベストな対応について深く考えました。



北村 憲彦教授 橋爪 慎哉氏 落合 清恵氏

10月18日、第4回講座をオンラインで開催しました。

「プロジェクト・マネジメント:新しい価値を創造するために(講師:北村憲彦教授)」では、開発事例をもとに、原理に則した試行錯誤と失敗原因追究の重要性、リーダーに求められる資質と能力が具体的に示されました。

「ものづくりにおける知財マネジメント(講師:INPIT 橋爪慎哉氏)」では、知的財産権・特許権(特許法)の基本事項、企業戦略・商品開発への活用法等、幅広い視点が示されました。

「ものづくり現場における私らしいリーダーシップスタイル(講師:トヨタ自動車株式会社 パワートレーン製品企画部 主査 落合清恵氏)」では、講師の経験に基づく複数の事例を題材に、実践的なグループワークを行いました。



11月11日、卒塾式・塾長講演を名古屋工業大学4号館ホールにて対面で開催し、塾生とその上席者ら48名が参加しました。

西岡塾長から塾生一人一人に修了証が授与され、塾生は「リーダーになるための行動宣言」として、本養成塾で学んだことを今後職場でどのように活かし、どんなリーダーになっていきたいのか、1分間でスピーチをしました。

塾長講演では、株式会社光機械製作所 代表取締役社長 西岡慶子氏(名古屋工業大学客員教授)が「経営に活かすダイバーシティの力」と題して、リーダーとリーダーシップの違いを始め、プロフェッショナルの条件、幸福度の高い職場をつくるためにリーダーとして心がけるべきことについて、ご自身の人生の節目となった出来事やそのときの感情も含めてお話しされました。

「行動宣言」を終えて、塾生からは、「自身の今後のタスクと目標を整理し、皆さんの前で行動宣言することにより、改めて、自己理解することができました。宣言で終わることのないよう、今後、必ず達成していきたいと思います。」「リーダーに必要なものは何か考えさせられる機会になりました。技術だけでなく、人間として成長できるよう努力していきたいと感じました。」という感想が寄せられました。

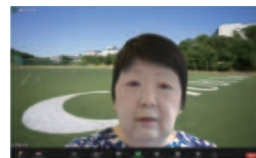


TOPIC 3 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型） 最終報告シンポジウム「共に創る未来へ」

2022年9月21日、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)最終報告シンポジウム「共に創る未来へ」をオンライン開催しました。小畑誠理事・副学長の挨拶により開会し、ダイバーシティ推進センター 加野泉准教授がダイバーシティ推進事業の概要と成果について報告しました。

続いて、「科学技術と多様性確保～工学分野こそ強化したいダイバーシティ推進～」と題し、中部大学総長補佐・特任教授、東京農工大学特命教授・名誉教授 宮浦千里氏にご講演いただきました。少子化が進む日本の行く末にも触れながら、工学を女性が活躍できる分野へと変えていくことの重要性を説明され、ダイバーシティ推進のために、地道な取組を長期に渡り継続的に行うことが肝要であると強調されました。

最後に、本学副学長・ダイバーシティ推進センター長 井門康司教授より、講演者、参加者への謝辞が述べられ、閉会しました。学内外より52名が参加し、参加者からは「取組を定例化して継続することの大切さや、女子学生に母校に戻ってアピールしてもらう等、具体的なアプローチを知ることができてよかった。」等の声が寄せられました。



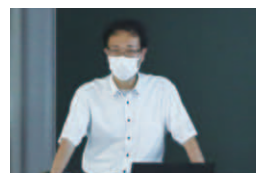
宮浦千里氏

TOPIC 4 NITech CAN 女性研究リーダー養成塾 第1回研究力向上セミナー「特許出願の意義と活用」

2022年8月23日、女性研究リーダー養成塾「第1回研究力向上セミナー」を開催しました。

講師に社会工学専攻 建築・デザイン分野 伊藤洋介准教授をお迎えし、「特許出願の意義と活用」と題し、知的財産権や特許についての基礎的な考え方を解説していただきました。先生の豊富なご経験をもとにしたワークにより、受講者は理解を深めて行くことができました。

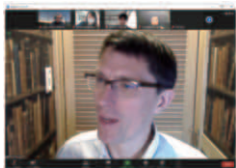
最後に、研究支援課 矢野敦子氏より、知的財産にかかわる窓口と学内手続きについての説明がありました。対面とオンラインのハイブリッドで開催し、25名が受講し、受講者からは「知財について基礎から具体例まで、丁寧にご説明頂けて、よく理解出来た。」「実践的事例が取り入れられており、興味深い内容だった。」「学内手続きも知っていたので、望み通りの内容でした。」などの感想が寄せられました。



伊藤 洋介准教授

TOPIC 5 NITech CAN 工学女子キャリア形成塾 「英語プレゼンテーションセミナー」

2022年8月から10月の5回にわたり、Leafy Learn 代表ヤング・タム先生を講師に迎えて、英語プレゼンテーションの基本スキル向上を目指すセミナーをオンライン開催しました。



ヤング・タム先生

第1回は、受講生がペアになり相互にアドバイスをしながら、イントロダクション部分のスライドを作成しました。第2回では、内容の組み立て方、焦点の絞り方について学び、第3回は、結論部分のスライドでは簡潔かつ明確に情報を提示すること、質疑応答での対応方法について学びました。第4回は、話すスピード、時間の管理、ポインターの使い方と、自分のプレゼンテーションが聴衆に理解しやすいのか確認する方法を学び、実践練習をしました。受講生は話すスピードや抑揚などのポイントを確認しながら練習を重ね、最終回の第5回では、一人ずつプレゼンテーションを行い、質疑にもスムーズに対応できるようになりました。

TOPIC 6 人事課労務係と共催 育児・介護休業法改正に伴う説明会

2022年11月16日、育児・介護休業法改正に伴う説明会「夫婦で取ろう！育児休業～知って得する『育児・介護休業法改正』活用術～」をオンライン開催しました。

ダイバーシティ推進センター加野泉准教授より「男性育児をめぐる新しい動き」として、男性が育児休業取得した場合の妻の幸福度向上や子供への影響、仕事・職場に対するプラス効果についてお話しいただきました。

続いて、位田労務管理事務所 社会保険労務士 位田達哉氏、佐藤剛氏より、育児・介護休業法改正ポイントの説明をしていただきました。

最後に、人事課労務係より、名工大における育児・介護休業法規程改正概略説明がありました。

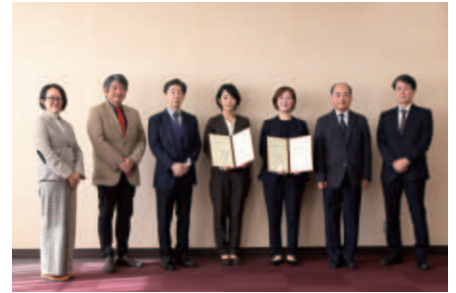
教職員22名が参加し、法改正のポイントについて直接専門家にお話を伺える良い機会になりました。



TOPIC 7 第9回「女性が拓く工学の未来賞」授賞式

2022年11月15日、第9回「女性が拓く工学の未来賞」授賞式が行われました。この賞は、女性研究者を表彰することにより、その研究意欲を高め、将来の学術研究を担う優秀な女性研究者の育成を図り、これによりダイバーシティの推進に資することを目的するものです。

本年度は、優秀賞に成田麻未助教(理工学系プログラム 材料機能分野)、奨励賞にXie Li(シャリ) 研究員(社会工学系プログラム 環境都市分野 吉田奈央子研究室)が選出されました。11月15日に授賞式が行われ、受賞者に表彰状、トロフィー、副賞が授与されました。



<優秀賞>成田麻未助教(中央)
<奨励賞>Xie Li 研究員(中央右)

REPORT 第9回「女性が拓く工学の未来賞」受賞者の声

優秀賞



成田麻未助教
理工学系プログラム
材料機能分野

この度は、大変栄誉ある賞をいただき誠にありがとうございました。私は本学卒業後、他大学で修士および博士課程を修了後に、民間企業での研究職の道を選びました。その後、再び母校にて研究に携わることとなり、現在3年目です。学生の頃よりこれまでに会った多くの方々のご縁を大切に、研究者としての道を歩んできました。

私はこれまでに、主に軽金属材料を対象として、輸送機器の軽量化に寄与する材料開発・研究を継続して行ってまいりました。本学赴任後、「爆発圧着法」を用いた軽金属材料の接合についての研究を開始しました。その当時、0歳だった息子ももう3歳。そして学生も、3年間を通し立派に研究を自分のものとし、共に多くの成果を上げてきました。日頃、研究にご協力いただいている学内外の多くの皆様に、改めて感謝申し上げます。

今後も視野を広く持って研究を展開し、キャリアを積み上げていけるよう精進してまいります。また、工学分野に進むことで人生が豊かになること、そして金属材料の研究の面白さ、奥深さ、重要性を、若い世代へ熱意をもって伝えていきたいです。

奨励賞



Xie Li(シャリ) 研究員
社会工学系プログラム
環境都市分野
吉田奈央子研究室

この度、このような賞をいただき大変光栄に思います。賞の創設者と選考委員会の先生方の女性研究者に対するご配慮に感謝を申し上げます。こうした取組により、大学における女性研究者、特に私のような外国人女性研究者のイニシアティブが大いに促進されたように感じております。

私は2013年に博士後期課程の学生として来日し、卒業後も日本で研究を続け、環境工学分野での水環境浄化の研究に取り組んできました。1年半の育児休業を経て、2022年4月に復職し、排水浄化のための微生物燃料電池に関する新たな研究プロジェクトに携わってきました。研究はこの上なく楽しい仕事ですが、大変なこともあります。ここで、仕事と研究の両面を大いに支援してくださった吉田奈央子准教授に、特別な感謝の意を表したいと思います。吉田先生には、フレックスタイム制を導入していただいたり、1歳の子どもを連れての国内外での学会参加へのサポートもしていただきました。先生のご支援のおかげで、子育てと研究の両立を実現できています。また、困難に直面しても、決して諦めなかった私自身にも感謝したいです。困難の一つひとつを乗り越えたからこそ、強くなることができました。

今回の受賞を、これまでの研究への評価だけではなく、今後の研究への激励をいただいたのだと思っています。今後も、人類が生きていくために必要な水環境の浄化に貢献できるよう、精進していきたいと思います。

発行

名古屋工業大学ダイバーシティ推進センター

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

TEL | 052-735-5121, 052-735-5279

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」

2022年12月発行

E-MAIL | diversity-crew@adm.nitech.ac.jp

URL | <https://diversity.web.nitech.ac.jp/>